

【参考】令和6年産水稻の生産状況

農林水産省によると、広島県における令和6年産の米の作柄概況は、穂数は、6月下旬及び7月中旬の日照時間が平年を下回ったことにより、分げつが抑制され「やや少ない」となりました。穂数がやや少ないことによる補償作用により、1穂当たりもみ数は「やや多い」となり、全もみ数は「平年並み」となりました。

登熟は、7月下旬から9月下旬にかけて気温及び日照時間が平年を上回って推移したため「やや良」となりました。

作柄は、広島県の10a当たり収量は526kgとなり、前年産に比べ9kgの減少となりました。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は、101の「平年並み」となり、南部は106の「良」、北部は98の「やや不良」となりました。

1 広島県10a当たり収量の推移（単位：kg）

R2	R3	R4	R5	R6
499	522	530	535	526

（農林水産省）

2 10a当たり収量及び作況指数

地帯別	収 量	作況指数
広島県	526 kg	101
北部	513 kg	98
南部	546 kg	106

（農林水産省）

3 等級比率（単位：％）

等級	芸北	大朝	千代田	豊平
1等米	78.7	98.0	93.0	92.0
2等米	20.1	2.0	6.9	6.8
3等米	1.2	0.0	0.1	1.2
規格外	0.0	0.0	0.0	0.0

（JAひろしま、JA広島市提供）

4 経営規模別作付面積

経営規模	戸数	作付面積 (ha)
30ha超	4	162
20～ 30ha	15	343
10～ 20ha	31	441
5～ 10ha	22	148
3～5ha	18	70
1～3ha	165	245
0.5～1ha	371	256
0.5ha未満	769	209
計	1,422	1,874